

日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同
フロンティア人工物分科会（第26期・第7回）
議事要旨

日時： 令和8年1月9日(金) 13:00～15:00

場所： 日本学術会議5-A会議室（1）及びzoomによるオンライン

出席者：宮崎 恵子（以上会員，五十音順）、石川 拓司、伊藤 恵理、伊藤 宏幸、大林 茂、河合 宗司、川口 慎介、佐宗 章弘、戸上 健治、中谷 和弘、藤井 孝藏、藤田 修（以上連携会員，五十音順）、佐藤 徹（以上連携会員（特任），五十音順）

欠席者：鈴木 真二、中谷 武志、坂東 麻衣、松尾亜紀子、向井 千秋、大和 裕幸（以上連携会員，五十音順）

議題

- （1）前回議事要旨確認
- （2）意思の表出に関する審議
- （3）人材育成関連
- （4）未来の学術振興構想関連
- （5）その他

配布資料

資料1 第26期第6回フロンティア人工物分科会議事要旨

資料2 理工系博士人材育成分科会第2回議事要旨

資料3 法人化に関する対応状況 総会資料

資料4 日本学術会議法人化準備委員会第4回資料

議事

1. 宮崎委員長より、資料1に基づき第26期第6回フロンティア人工物分科会の議事要旨が確認された。
2. 意思の表出の報告案「海底下地層における二酸化炭素貯留施策推進の課題」について、宮崎委員長が、本分科会の専門分野の委員による更新状況、「工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会」及び「循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会」との連携に基づく更新状況等を説明した。これらについて本分科会全体での審議を継続した。

審議の結果、本報告案を一部修正して提出すること及び今後の修正（関係者との追加の意見交換を含む）については委員長一任とすることを承認した。

3. 人材育成については、宮崎委員長が前回までの本分科会での審議状況を振り返ったのち、

資料2等に基づき、第三部理工系博士人材育成分科会の審議状況と記録としてのまとめの方針等を報告した。さらに、この記録案への本分科会からの情報提供等についても説明した。

4. 未来の学術振興構想については、科学者委員会学術研究振興分科会及びその傘下の未来の学術振興構想評価小委員会のスケジュール等を情報共有した。
5. その他として、宮崎委員長により、資料3及び4等に基づき日本学術会議の法人化に向けての準備状況等を説明した。また、フロンティア人工物分科会が関わる産業に関連する大学教育等に関して意見交換を行った。

以上